

- 系統 2液型メタクリル樹脂系モルタル
- 特長 1) 主剤硬化剤を混合した樹脂液を骨材入りビニール袋に投入し袋のまま混合が可能。
2) 短時間で硬化するため早期交通解放が可能。
3) 柔軟性に優れるため割れや欠けに強い。
4) アスファルト舗装用：ブラック、コンクリート用：グレー

- 用途 1) アスファルト舗装の段差修正などの簡易補修

荷外観性状

主剤	硬化剤	計量カップ	骨材	撒き砂
1. 6.7 kg×2缶	220 g×1本	30ml×2個	8.3kg×2袋	1.2kg×1袋
淡紫色液状	白色粘稠液状	プラスチック製	ブラック：濃灰色珪砂	黒色珪砂
			グレー：淡白色珪砂	淡白色珪砂

配合比

主剤：硬化剤：骨材 = 1.67kg：20～90g：8.3kg (重量比)

※硬化剤20～90g：

主剤1缶に対して、温度毎に規定された量を、秤または計量カップで計量して添加する。

可使時間の目安
硬化時間の目安

温度 [°C]	5	20	30	40
硬化剤の添加量[g/主剤1缶]	90	30	20	20
計量カップでの容量計量時 (ml)	80(約92g)	25(約28g)	20(約23g)	20(約23g)
可使用時間 [分]	30	25	25	15
硬化時間 [分]	50	40	40	25

可使用時間：金コテで表面仕上げが可能な時間の目安を示す。

硬化時間：指触乾燥状態で交通開放可能な時間の目安を示す。

見掛け密度

約2.1 g/cm³ (製品規格値：1.950 g/cm³ 以上)

品質保証期間

6か月 (未使用、冷暗所保存)

消防法による区分

主剤 危険物 第4類 第1石油類 非水溶性 骨材 該当しない
硬化剤 該当しない 撒き砂 該当しない

毒物及び劇物取縮法

主剤 該当しない 骨材 該当しない
硬化剤 該当しない 撒き砂 該当しない

使用方法

- 1) 主剤と硬化剤を箱から取り出す。
- 2) 温度毎に規定された硬化剤の添加量を、秤を用いて計量する。
やむを得ず秤を使用しない場合は、計量カップを用いて容量で計量する。
- 3) 主剤のキャップを外し、計量した硬化剤が計量カップ等に残らないよう、金ベラ等を用いて硬化剤を主剤缶の中に全量投入する。
- 4) 主剤のキャップをしっかり閉めて、缶を1分間よく振る。
- 5) SBQモルタル骨材の袋に流し入れ、袋のまま揉みほぐし均一になるまで混練りする。
- 6) 混練状況を確認した後、打設する部分に流し込み、コテ等で仕上げる。
- 7) すべり抵抗が必要な場合は、可使用時間内に撒き砂を散布する。

使用上の注意

- 1) 接着面の表面処理を十分に行う (汚れ、水分の除去)。
- 2) 硬化剤が一定量以下になると硬化不良を起こすおそれがありますので、計量した硬化剤全量を確実に主剤缶に投入してください。
- 3) 主剤と硬化剤の混合後、骨材と混練りする際は、均一になるまで十分に行う。
- 4) **可使用時間内に作業を終了する。**
※推奨する使用温度範囲は5～30℃です。40℃付近でも使用可能ですが、**可使用時間が極端に短くなります。予め材料を冷やすなどをして使用して下さい。**
- 5) シンナー、水を混入して使用しない。
- 6) SBQモルタルが硬化したことを確認後に交通開放すること。

⚠ 注意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。